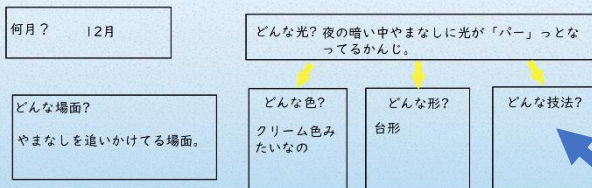
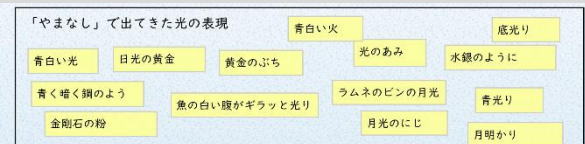


【ICT 活用実践紹介】



カニを複製したり、縮小したりして自分のイメージする構図に近づける。時間短縮できる。

【花里小 岡田の実践】

教科：図工「いろいろな光～やまなしより～」

活用ツール：国語のデジタル教科書

「MetaMoj ClassRoom」

類型：B3（思考を深める学習）

内容：発想・構想

1. 【準備】「MetaMoj ClassRoom」のノートをつくる。
2. 【授業】デジタル教科書で「やまなし」を読み聞かせる。
3. 【授業】自分の書きたい場面を言葉で書く。
4. 【授業】アイデアスケッチを描く。
(複製, 大きさを変える, 位置を変える等)
5. 【授業】いろいろな技法を試す。
(ドリッピング, ローラー, スパッタリング, 割りばしペン, コンテ等)
6. 【授業】試した技法の写真を MetaMoj ClassRoom に貼り付ける。
7. 【授業】その技法から感じるイメージや感想をかき入れたり, 自分の光の表現に使いそうかを判断したりする。

スパッタリング



やさしい光を降りた、時に使えそう
太陽の光がさしこんでいぼみたい
水の色も青い時に使えそう

わりばしペン



山とか、岩とか、時に使えそう
「力かえとてんぐな」ていねいにか
けよう

コンテ



ぼやかしたいけど、中は
はっきりさせたいときに使
えそう。「やさしい光の時
に伝えたい。」など

「ぼやかしたいけど、中は
はっきりさせたいときに使
えそう。」「やさしい光の時
に伝えたい。」など

【岡田のおもいつ記】

今回は、教科書でいうと「言葉から想像を広げて」という題材です。国語の教科書にある「やまなし」を読んで、イメージを広げ絵に表すもので、10年くらい前、岐阜県のアクションプランという取り組みで岡田が行った実践をもとにしています。「光」は児童の経験や生活体験によってイメージや形・色が異なります。技法を試したり、構図を試したりするなかで自分なりの表現に近づけることが大切です。ICTは試す、複製するが容易にできる特性があります。また、学習ログを蓄積することもできるので、技法から受けるイメージをノートに残しておくことで作品づくりの際に参考になります。アイデアスケッチでは、自分が描いた「かに」を拡大縮小、位置を変えるなどの操作ができ、改めて描く必要がないので、構図を考える時間とすることができ、たまたま、あくまでアイデアスケッチなので、そこで完結をしたり、(タブレットで)色を塗るなどをしたりして作品をつくる時間が無くなるようにすることが大切だと感じます。どんな作品ができるか楽しみです☆